

日本古代中世史研究

選択 2単位

佐伯 智広

1. 授業の概要(ねらい)

学術論文の執筆のためには、先行研究を批判的に検証し、適切な課題を設定する能力が不可欠である。本授業では、日本古代中世史に関する学術論文を具体的に取り上げ、当該論文中に引用されている史料・先行研究を検証し、内容の精読を行う。

2. 授業の到達目標

先行研究の内容を適切に把握する読解力を身に付ける。

史料・先行研究の収集力を身に付ける。

日本中世史の研究状況を理解する。

3. 成績評価の方法および基準

授業内発表30%

討論での発言20%

期末レポート50%

4. 教科書・参考文献

教科書

なし

参考文献

なし

5. 準備学修の内容

発表担当者は、対象論文の要約と、引用文献・史料の収集を、事前に行う必要がある。

それ以外の受講者は、対象論文の熟読を事前に行う必要がある。

6. その他履修上の注意事項

対象論文は日本古代・中世史に関する学術論文に限定される。

7. 授業内容

- | | |
|--------|---------------------------|
| 【第1回】 | 授業の進行についてのガイダンス |
| 【第2回】 | 対象論文の提出と選択理由の発表 |
| 【第3回】 | 先行研究への批判的考察に関する討論(オンライン回) |
| 【第4回】 | 対象論文の要約発表1 |
| 【第5回】 | 対象論文の要約発表2 |
| 【第6回】 | 対象論文の要約発表3 |
| 【第7回】 | 対象論文の引用文献に関する発表1 |
| 【第8回】 | 対象論文の引用文献に関する発表2 |
| 【第9回】 | 対象論文の引用文献に関する発表3 |
| 【第10回】 | 対象論文の引用史料に関する発表1 |
| 【第11回】 | 対象論文の引用史料に関する発表2 |
| 【第12回】 | 対象論文の引用史料に関する発表3 |
| 【第13回】 | 対象分野の研究状況と課題についての発表1 |
| 【第14回】 | 対象分野の研究状況と課題についての発表2 |
| 【第15回】 | 対象分野の研究状況と課題についての発表3 |